

各位

「LED Next Stage」でお届けする 人にやさしく、環境にやさしい、新しい光の提案 ～コア技術を活用して「食」・「住」・「医」を支える新用途の照明を生み出す～

シーシーエス株式会社（本社：京都市上京区／画像処理用LED照明分野で国内・世界シェア1位を確立）は、独自のライティング技術を活かして食、医、住を支えるLED照明の開発を進めています。

「食」とは野菜栽培のこと。2000年頃から研究開発を進めてきた植物育成用LED照明。LEDで効率的に野菜を栽培し、食糧自給力低下の問題を回避する足がかりになりたい、安全な野菜を安定的に供給できることにつなげたい、という考えで、これまで植物に最適な光に関する研究開発を進めてきました。

次に「住」とは住居や店舗のこと。京都の職人とのコラボレーションで「ゆらぎ照明」を作り、癒しの空間を演出しています。その他にも店舗用の照明を開発中です。当社が開発する高演色性のLED「自然光LED」の実用化が進めば、さらに用途の拡がりが見込めます。

そして「医」。医療の現場においてもLEDの光が注目されています。医療機関や大学、企業と共同で研究開発を進めています。

LED Next Stage<3月4日(火)～7日(金)・東京ビッグサイト>

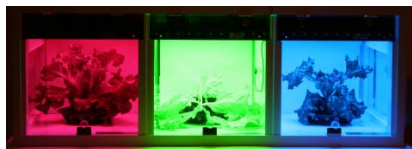
【シーシーエス（小間番号：LE3046）出展一覧】

1. 植物育成用LED照明

テーマ：LED菜園

製品の説明：

様々な植物の育成に最適な光を当てることができるLED照明。現在は研究用途として研究所や食品メーカーなどで活用されている。研究がさらに進み、LED植物工場の実現につながれば、無農薬で含有栄養素も調整することができ、天候に左右されずに野菜を供給できる「農業の工業化」につながる。



2. 「自然光LED照明」(高演色の照明)

テーマ：目視照明と一般照明

試作品の説明：

これまでLED照明として発表されたものでは、色の再現性を示す平均演色評価数95が世界最高でしたが、山口大学との共同研究で独自の製造方法により演色評価数を98まで上げることに成功(2007年11月)。高演色の照明は、工業用途から一般用途まで、照明を当てる対象物の色を正確に見たい場面(例えば製品の色味を検査する場面、服飾や食品の店舗や美術館・博物館など)に有用。



3. ゆらぎ照明 テーマ：癒しの空間

試作品の説明：京都の職人(唐長、日吉屋、型絵染工房、あかりデザイン工房)とのコラボレーションにより、技術と当社の照明技術を融合し、様々な形の「ゆらぎ照明」が住居や店舗の空間を演出する。ロウソクの灯りのようにLEDがゆらめくのが特徴。



シーシーエス株式会社
〒602-8011 京都市上京区烏丸通下立売上ル
代表取締役社長 米田 賢治

(お問合せ) 管理部広報 IR 課
TEL：075-415-8291
FAX：075-415-7724
E-mail：koho@ccs-inc.co.jp